

世に対するスタンス (ヨシュア 7:19-22)

イスラエルの民が神様の力によってエリコに勝ったあと、勢いに乗ってアイの町に攻め入りました。小さな町だから楽勝だろうと、少人数で攻撃したところ、惨敗してしまいました。びっくりしたヨシュアが、神様の前に出て、カナンの地は約束の地なのに、なぜ惨敗したのかと祈ったときに、神様が「わたしに罪を犯したゆえの警告だ」と言われました。神様はすべてを聖絶しなさいと言われたのに、契約を破ってカナンの民のものを自分のものにした者がいると言われたのです。聖絶というのは、神様によって滅ぼされるということです。くじをひいたところ、アカンがあたり、アカンはカナンの民のものいくつかをほしくなって、取ってこっそり隠したと告白しました。欲を持って、貪欲になったということです。アカンとその家族は、アコルの谷でみんな石打されて死にました。このことから、いま、クリスチャンである私たちはなにをメッセージとして受けるべきでしょうか。



私たちは現場灯台として召された、自分が思っている以上に貴重な存在です。その私たちのこの世と世にあるものへのスタンスは、勝利か惨敗かにかかわる大きなことです。私たちは、ただ世の中を生きているのではなく、イエス・キリストによって世に遣わされている、世の人とはちがう存在です。この世には、見えるもの、見えないものも、人も、立派ですばらしいものがたくさんあります。お金、健康、成功、名誉、恋は必要なもので、社会維持のためのルール、道徳、律法も必要です。しかし、どんなに立派が必要であっても、信者である私たちはそれに心を奪われてはならないのです。心を奪われることを「誘惑」と言います。たしかに立派が必要ですが、それによって信者の人生が左右されてはならないのです。それらは、絶対的なものにはなりません。信仰や人生が左右されるほど、なくてはならないと思ひ、欲しがって、貪欲に走るようになります。かといって、禁欲的に避けるものではありません。世と世にあるものに対して「クール」になるべきです。それは「どうでもいい」というスタンスです。仕事を軽んじてはならず、最善を尽くすべきですが、それによ

て左右されてはなりません。そうでないと、禁欲主義で避けるか、アカンのように貪欲になってしまいます。サタンは、そのスタンスを崩して、現場灯台としての勝利の道をだまします。ダビデとサウル王のちがいは、地位、権力に対してクールであったか、それらにしがみついていたかのちがいです。世の中のものは必要で大事ですが、絶対、永遠のものはないので、いのちをかけることではありません。パウロは、刑務所の中でもクールでした。世にあるものがテーマではなく、キリストの御名があがめられることがテーマだと言いました(ピリピ 1:20)。ピリピ 3:12-14、4:11-13 にパウロは信仰告白をしています。

どうすれば、クールになることができるのでしょうか。なぜアカンは欲に走ったのかを答えとして確認して、契約を握りましょう。それは、only キリストの答えを知らなかったからです。キリストしか救われる道、助かる道はありません(使徒 4:12)。世の人は知りませんが、人間には根本問題があり、それはキリストしか解決できません。創世記 3 章の原罪によって、神様から離れ、悪魔の手につかまり、地獄の運命に縛られている根本問題が分かるなら、キリストしかないと分かります。そして、キリストは完ぺき、完全にその問題を解決されました。十字架ですべて完了され(ヨハネ 19:30) 一つのささげ物によって、永遠に全うされました(ヘブル 10:14)。死の力も怖れる必要はありません(コリント 15:15)。創世記 3 章 15 節の女の子孫の約束の預言を、完ぺきに成就され、救いのみわざを完全に全うされました。それゆえ、このキリストで十分なのです。キリストにあって、天にあるすべての霊的祝福を受けるようになり、三位一体の神様が内に宿られる神殿となり、義と認められるだけではなく、イエス様と同じように栄光が与えられました(ローマ 8:30)。この神様の愛から決して切り離されることなく(ローマ 8:37)、患難もなにも問題にならず(ローマ 8:37)、死ぬことさえ液になります(ローマ 8:28)。ダビデは、キリストによって十分だと詩篇 23 篇で告白しています。パウロは、どんな境遇にあっても満ち足りると、キリストで十分だと言いました

(ピリピ 4:13)。キリストで十分なので、世の中の問題がいろいろあっても、クールでいることができます。初代教会の信徒がローマからの解放をイエス様に尋ねたとき、イエス様は「あなたがたは知らなくても良い」とクールになりなさいと言われました。キリストで十分であり、聖霊の力が注がれるとローマ、世界をひっくり返すことができると言われたのです。only キリストであるゆえにクールになります。

そうすると、自分は世に遣わされている者で、現場は宣教地だと分かるので、クールになります。世の中には立派なことがあっても、キリスト以外は希望がないこと、夢をかなえる所でも、成功に向かってあがくところでもなく、地上に天国はないとわかり、自分が現場灯台として遣わされているとわかるようになります。そして、私たちの戦いは血肉のものではなく、悪霊との戦いなので(エペソ 6:12)、暗やみが支配している宣教地であるこの

世のものは、なにも欲しがる必要がないとわかります。現場灯台として光を放つべきであって、世のものを欲しがることは、無知なことだとわかります。

only キリストと、キリストで十分であること、また、世の中は宣教地という軸を忘れてはなりません。そして、キリストで私は十分幸せだと確認して、福音宣教の使命を確認して感謝し、たっぷりとひたるサミットの時間を持つことを優先しましょう。そうすれば、世にあるものはどんなものも怖れず、うらやまず、問題にせざ、引っかかることもなくなります。キリストで十分だからです。| 歴代 29:14 のダビデの告白を自分のものとしましょう。そして、ピリピ 4:13 を自分の告白としましょう。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

ヨシュア 7:19-22 世に対する信者のスタンス

なるほど/世の中には優れたもの、必要なもの(見えるもの、見えないもの、人)が多くあるのは間違いないけど、キリスト Only の奥義を知り、この世は宣教地であることを知っている信者は、世のものの欲しさに欲に走ったり、縛られたりせず、超越 (cool) のスタンスで、サタンを踏みつけ現場灯台の勝利の道を歩むようになる。

ならば/色々な現実の中、キリストで幸せであり、使命の人生であることを確認するサミットの時間を優先しよう。| 歴代記 29:14 とピリピ 4:13 を自分の告白にして世のものにクールになろう。

| 歴代 29:14 「まことに、私は何者なのでしょう。私の民は何者なのでしょう。このようにみずから進んでささげる力を保っていたとしても、すべてはあなたから出たのであり、私たちは、御手から出たものをあなたにささげたいすぎません。」

ピリピ 4:13 「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。」

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2019年5月5日)

1 部礼拝: わざわいを止めるレムナント運動 (イザ 6:13)

レムナントたちがレムナント 7 人が味わった最高の答えが何かを知って、キリストで完全に終わる契約を握って、世に勝つようにしてくださり感謝します。レムナントは滅亡の通路になるサタンのしわざが 12 の問題であることを知って、契約を正しく握って勝利して世界を生かす主役になりますように。レムナントが救われた者の祝福が何かを知って、三位一体の神様の祝福を回復しますように。レムナントがまことの力と能力が何かを知って、霊的サミットとして全世界を癒しますように。毎日レムナントの日になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2 部礼拝: 三つのことがある神殿準備 次世代のために (イザ 62:6-12)

神殿建築をただせずに、他の現場と世界の崩れた教会を回復する祈りを始めて、その契約と答えを予め握るようにならしてくださり感謝します。私を切り株として召されたということを知って、神様の力を体験しますように。光を照らす教会として遠いところから新しい芽が出て、小さい者が氏族に、弱い者が強国となる答えを味わいますように。見張り人にならして大路を作り、すべての人々のために旗を揚げて 237 王国を生かす準備をしますように。霊的な力、聖霊の満ちしを回復しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。